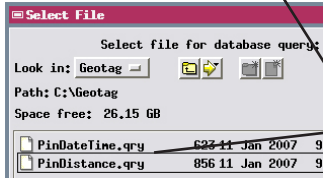
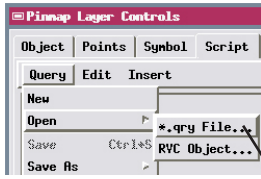


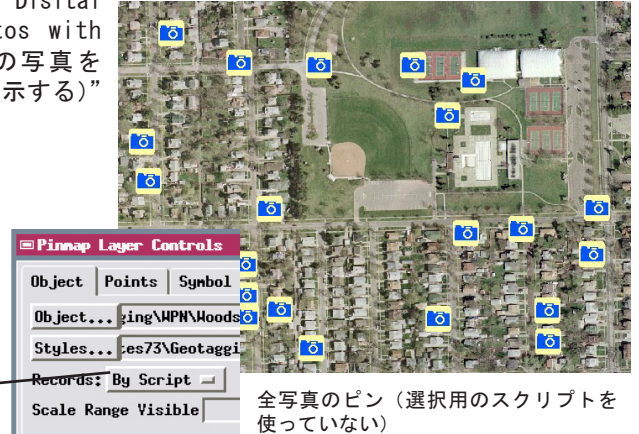
# クエリーを使用してデジタル写真をピンマップ



デジタル写真をピンマップするとき、スクリプトを使って特定の日付 / 時刻や位置、その他の条件に合う写真だけを地図表示するように制限することができます。2つの例について、そのような選択を行うスクリプトとその結果を示します。比較のため、全部の写真のピンマップを右の図に示します。ジオタグ写真テーブルのピンマップ表示に関する基本的な情報は、テクニカルリファレンスの“Disital Photos : Pinmap Digital Photos with Photo DataTips (デジカメの写真をデータチップでピンマップ表示する)”をご覧ください。

ピンマップレイヤコントロールの [スクリプト] パネルの [クエリー] を使って、既存のスクリプトを選択するか、編集用パネルに新たにスクリプトを入力します。

ピンマップレイヤコントロールウィンドウの [オブジェクト] パネルの「Records」メニューから [By Script] を選択し、選択したスクリプトや入力したスクリプトを使ってマッピングに使うレコードを選択します。



## 日付と時刻から写真を選択する : PinDateTime.qry



日時で選択されたピン

DATETIME クラスのメンバーとメソッドを使うと、特定の日付やある日時の前後に撮影された写真を選択することができます。このサンプルテーブルの写真は 2004 年 11 月 14 日から 2005 年 7 月 7 日までの間に撮影されたものです。サンプルスクリプトは 2005 年 6 月 1 日の正午 12 時に降に撮影された写真を選択します。

```
class DATETIME dt; 日付 / 時刻情報を格納・変換するためのクラス
```

```
比較のため対象日を 2005 年 6 月 1 日、時間を正午 12 時に設定します
```

```
dt.SetDateYYYYMMDD(20050601);  
dt.SetTime(12, 0, 0); 時刻を時、分、秒で設定します
```

```
Date-Time フィールドの値は旧太陽暦に返されます。比較のため DATETIME クラスメソッドを使って対象の日時を旧太陽暦に変換します。
```

```
if ('WPN Geotagged Images'.Date and Time' > dt.GetDateTimeJulian() ) then  
return true; 条件に合うレコードを選択します
```

## 空間的な距離で写真を選択する : PinDistance.qry

このスクリプトでは基準の位置から 200m 以内の距離で撮影された写真を選択します。図では野球場のピッチャーマウンドの中心が赤い点で示されています。写真の位置は緯度経度座標なので、あらかじめ用意された関数を使って、指定した座標参照系でポイント間の距離を求めます。

```
numeric distance = 200; メートル単位での距離  
class POINT2D refpt, photo; 参照ポイントと写真のポイント
```

```
class SR_COORDREFSYS crs; 座標参照系を設定  
crs.Assign("Geographic2D_WGS84_Deg");
```

```
refpt.x = -96.6767763; refpt.y = 40.8087643; 参照ポイントの緯度経度座標を設定
```

```
photo.x = 'WPN Geotagged Images'.Longitude; テーブルから現在の  
photo.y = 'WPN Geotagged Images'.Latitude; 写真の座標を取得
```

```
特定の地図投影における 2 地点の間の距離をメートル単位で返す関数をコールし、設定した距離と比較する
```

```
if (ProjDistanceToMeters(crs, photo.x, photo.y, refpt.x, refpt.y) <= distance) return true;
```

```
条件に合うレコードを選択します
```



参照ポイントからの距離から選択されたピン

注：これらのサンプルスクリプトは TNT2007 : 73 サンプルスクリプト集の SelectionQuery ディレクトリにあります (www.microimages.com/downloads/scripts.html)。